

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市荒井児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人アスイク
3 指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 18,289人 ※令和2年度開設
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 35,043千円 ( )千円 ・ その他市が負担した費用 0千円 ( )千円 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 ( )千円 ・ その他収入 0千円 ( )千円
	( )は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童クラブ保護者懇談会を実施。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図っている。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供など、子育て家庭を支援を行っている。今後、地域組織・団体・住民・関係機関との更なる連携、相互交流を図った児童館運営が期待される。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人アスイク）による自己評価》
<p>「子どもたちを、社会ではぐくむ、地域で見守る」をビジョンとして掲げ、地域等との連携によるプログラム構築、子育て家庭支援の2つを重点目標として取り組んできました。</p> <p>地域等との連携では、当初予定していた地域交流を推進する行事は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で地域住民を広く招いての開催は叶いませんでした。ただし、児童クラブ対象の夏祭りに講師を招き、子どもたちに盆踊りを指導してもらうなど、可能な範囲での交流を図りました。また、乳幼児親子向けのリトミックでは、地域の講師を招き、今後の地域交流につながるよう工夫を図りました。いずれも、換気や人数制限を設ける等、感染拡大防止対策を講じた上で実施しました。</p> <p>家庭支援の点では、自由来館の乳幼児親子、児童クラブ利用児童の保護者の皆様と関わらせていただいています。荒井小学校区は地下鉄東西線開通後に移住してきたご家庭も多く、元々の地域とのつながりなしに子育てに携わっているご家庭も少なくありません。そのため、月に1度の乳幼児向けイベントでは、親子体操、読み聞かせ、パネルシアター、親子制作、親子リトミックなどの親子交流の機会の提供だけでなく、親どうしが交流できるよう時間と場所を設定して実施してきました。</p> <p>児童クラブ利用の保護者に対しては、毎日忙しく働く中でもわが子と話をしたり交流する機会を持ってほしいという願いもあり、児童クラブの季節の行事（ハロウィン・クリスマス等）の様子をブログ・児童館だよりで伝えると共に、記念写真のプレゼントを行う等、工夫を凝らした児童クラブ運営を心掛けてきました。</p> <p>児童健全育成事業（自由来館）では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休止期間が多く、地域住民の利用定着には至りませんでした。児童クラブ利用児童と遊ぶ目的で同学年の児童が土曜日に来館するなど、利用の受入に努めてまいりました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>子育て家庭支援事業では、乳幼児を対象とした行事の「ひだまりカフェ」を月に1回を開催したほか、日常的にも安心して来館できるように衛生的な環境を整えながら、乳幼児親子が利用しやすい遊びの場を提供し、地域の子育て家庭を支援するための環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業では、「ハロウィンイベント」の企画運営を子ども主体で実施するなど、子供の生き生きとした活躍の場を提供し、主体的な活動を支援した取り組みを行っている。また、年度末に子どもたちが1年間でできるようになったこと、得意なことなどを他の子どもの前で発表する「みんなの発表会」や、職員が1年間かけて書き溜めた子どもの長所を記載した表彰状を手渡すなど、子どもの自己肯定感を高める取り組みを行っており、評価できる。</p> <p>令和2年度に開館し、放課後児童クラブを中心に、事業運営における基礎を作り上げた一年であったが、今後の積極的な事業展開及び地域・関係団体と連携した運営が期待される。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課